



SEASIDE PARK

ひたち海浜公園から発信する旬な情報

国営ひたち海浜公園

PRESS RELEASE

2015年7月15日

H27年度 VOL. 22



2015年7月12日撮影（砂丘観察園路）

美しき『砂丘の女王』 スカシユリ

砂丘エリアに 凜と佇んでいます

国営ひたち海浜公園の「砂丘エリア」。海岸に面し、起伏に富んだこのエリアには、海浜部特有の植物が数多く生育しています。中でもこの時期に咲いているのが、オレンジ色の花が鮮やかなスカシユリです。

力強く可憐な花を咲かせる姿は、まさに『砂丘の女王』の名にふさわしい佇まいです。草木の少ない砂地で、その鮮やかさ、気品が際立つスカシユリ。気持ちのいい潮風を感じる砂丘エリアで、砂丘の女王があなたとの出会いを待っています。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報課 広報係 服部・浅沼・安蔵

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

花期：7月上旬～8月上旬



2015年7月12日撮影

スカシユリ ユリ科/ユリ属

<花言葉> 注目を浴びる

海岸の砂地に生える多年草で、大きなオレンジ色の花を咲かせます。スカシユリの名は、花弁の下方が細くなって各弁の間に隙間ができ、透けて見えることに由来しています。梅雨時に咲き始めますが、雨がこの隙間から落ち、水が溜まらない機能的な花の形をしています。

ひたち海浜公園のスカシユリ

スカシユリの咲く「砂丘エリア」は、乾燥しやすく、潮風が強い、植物にとって厳しい生育環境です。そこでスカシユリは、強い潮風に耐えるため地面を這うように低く育ち、短い茎の先に不釣り合いとも言える大きな花を咲かせます。また、光沢がある葉を持ち、太陽光を反射して葉の温度が上がるのを防いでいます。

いま、砂丘エリアで観察できる花々

ハナハタザオ



時期：6～7月頃
(2015年7月12日撮影)

カワラナデシコ



時期：7～10月頃
(2015年7月12日撮影)

カワラサイコ



時期：6～8月頃
(2015年7月12日撮影)

ハマゴウ



時期：7～9月頃
(2014年8月5日撮影)

私たちが砂丘エリアの貴重な植物たちを守っています！

～野生植物パートナー～

公園ボランティア『野生植物パートナー』は、園内の自生植物やその生育環境、砂丘エリアの保全を行うとともに、その大切さを一人でも多くの方々へご紹介することを目的として、平成17年4月より活動しています。

活動日は毎週金曜日で、野生植物の球根の移植や種子の採取、挿し芽などの増殖を行っています。

特に、スカシユリについては、球根の増殖や植え付けなど重点的に取り組んでいます。を行っています。毎年10月に開催している「スカシユリ増殖作戦！」では、砂丘や海浜植物の生態の解説から行事の運営まで主体的に行っているほか、スカシユリの群落をよみがえらせることの重要性を、イベントに参加した方々に、体験を通じて伝えていきます。他にも、カワラナデシコやハマギク等の苗の植栽、また、絶滅危惧ⅠA類（環境省）に指定され、本公園に自生しているハナハタザオの植栽にも取り組むなど、長年にわたる継続的な保全活動が高く評価され、『平成24年度 第23回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰』を受賞しています。



パートナー活動の様子 2015年4月17日撮影